



No.891

国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

# WEEKLY REPORT

2015  
↓  
2016

H28 2/10 水

◎国際ロータリー第2530地区ガバナー／酒井善盛 ◎会長／小口憲太朗 ◎幹事／蔭山寿一



## 第29回例会

開会点鐘

ロータリー歌「我らの生業」齊唱

四つのテスト唱和

## ゲスト紹介

蔭山寿一幹事

国井謙さん(郡山RC)

佐藤晴也さん

## 会長エレクト挨拶

佐藤功一会長エレクト

先週も話しましたが、インフルエンザが猛威を振るっております。予防のためにマスク、手洗い、うがいの励行をお願いします。十分に睡眠を取り、頭痛や関節痛などを感じましたら、すぐに医療機関を受診することをお勧めいたします。

## 出席報告

渡部宏夫委員長

総員	32名
出席	18名
欠席	14名
出席率	56.25%
前回修正率	59.38%

## スマイルBOX報告

藤田弘美副委員長

佐藤功一	岩山さんの卓話を楽しんでいます。
蔭山寿一	岩山さんのお話楽しめます。佐藤晴也さんお久しう振りです。
鈴木かおる	岩山さんの努力には頭が下がります。

藤田弘美 父と同級の岩山さん!卓話楽しみです。

滝田幸子 岩山さんの卓話楽しみです。

大山三起雄 岩山さん楽しみにしています!

武藤起代子／高橋功／采女真弓  
増子ふみえ

## 幹事報告

蔭山寿一幹事

- ①IMへの出席依頼が来ております。
- ②朝河貴一さんに関する図書が届いております。興味のある方は事務局にお問い合わせください。
- ③津野順子さんの旦那様が亡くなられました。明日が通夜、12日が告別式です。慶弔規定により献花等をお送りします。

## プログラム／会員卓話

## 「私家版『私の履歴書』」

岩山慎一広報・雑誌副委員長



先日は私の米寿に対しまして過分なお祝いをくださいまして厚く御礼を申し上げます。この郡山アーバンRC発足に際しまして、大恩ある土屋繁一先生から入会をすすめられ、身のほども知らずに

お仲間入りさせていただき、あれから20年、さぞや皆様の足手まといだったと存じますが、よくご面倒をみてくださいまして、心から感謝しております。今日の例会は広報・雑誌委員会の担当でございますが、会長、幹事、委員長のご了解をいただき、米寿のお返しになるかどうかわかりませんが、私の歩んできた風変わりな一生の、本の一部をお話しさせていただきたいと思います。

第一に、岩山家とは深い関係にある熱海町についてです。昭和のはじめに私の父が磐梯熱海の山林を郡山の素封家の橋本萬衛門さんから譲り受け、森林育成を始めてから約80年が過ぎました。幾多の経余曲折の内に「熱海スケートリンク」の土地を高橋市長時代に郡山市に寄附しました。青木市長時代に熱海ユラックスを建設する時、建設場所がちょうど猪苗代湖からの強風の通り道でしたから、郡山消防署が計測していた風力のデータを利用し、日本一の権威者である足利工業大学の牛山泉学長を市役所にお迎えし、市長以下各部長に風車建設をレクチャーしていただいて、モニュメントとしても価値のあるオランダ型風車を建てていただきました。

その後、国道工事事務所から熱海バイパスの話がありました。私の所有地内で約7万坪が該当したのですが、私は最初から価額は交渉しないと申し上げ、専ら条件交渉に重点を置きました。路線の一部変更、地内の池を埋めないこと、ボックスカルバートを入れて分断された敷地の通行をできるようにすることなど、いわば機能補償に力点を置いて約7年の交渉の末に開通した訳ですが、国道工事事務所所長は、従来の用地買収の時の地主対応とは全く異質の交渉で、今でも記憶に残っていると言つて

おられます。熱海と言えば、原市長さん時代に、熱海駅前の旧磐光パラダイス跡を買収して観光の起爆剤にという話が持ち上がった中で「道の駅」誘致案などもあるようですが、果たして現地に「道の駅」の条件が合致するかは疑問に感じています。それよりも私の所有する熱海スケートリンクを囲む37haを市に寄附し、その中に熱海バイパスも通っているので、そこならば「道の駅」の可能性が高いと思っています。

話題は変わりますが、学卒以後で記憶に残っているひとつは、カナダ・バンクーバーに単身で木材を買い付けに行ったことでしょうか。当時一面識もない通産省・林野庁・三井物産などを歴訪して手ほどきをいただき、世界でも有数の木材会社のジャーデン・マディソン社に行きました。初めての訪問にも拘わらず、サイズがインチ・フィートでは日本に合わないからと、いわゆる「イワヤマ・ルール」を持参し、我が国に合う長さに切って輸出するようお願いして、受け入れてもらいました。この木材を積んだ船が東京港に着きましたら、サイズに無駄がないと評判になり、飛ぶように売れ、田舎の材木屋が都内の大問屋に買ってもらうことができました。

これらの取引にはどうしても英文タイプライターが必要でしたので必死に探しましたが、何分にも物のない時代でどこにもありませんでした。ようやくの思いで八重洲の丸善に1台あったのを高く買い求めました。このタイプライターがL/Cやインボイスなどに大いに役立って、利益を生むことになりました。経験を積み、都内はもちろん秋田は土崎港、山形は坂田港などにも船を向けてました。戦前に森林を伐り尽くして木材が枯渇していましたので、各地で飛ぶような売れ行きでした。これに勢いを得て、これまで東北には前例のない南洋材を、フィリピンやボルネオから東京港に輸入して各地に送り届けました。ところがどこの工場でもフォークリフトなどない

時代でしたので、木材の直径が余りにも太いことから、運搬にはかなりの努力と工夫が必要でした。

この時期は戦後のアメリカのGHQ(軍政府)の指示で学制改革があり、6・3・3制となって新制中学校が各地で建てられることになりましたが、建築資材の中でも特に幅の広い天井板の取れる材木が少ないと困っていました。この時、秋田の一流木材会社「秋田木材」と独占契約をして毎日10トン貨車1台を送ることになりました。この貨車が郡山駅に着くと、まるで砂糖に寄つて来る蟻のように、先を争って買い求められました。この資金を有効にと考えまして、さくら通りの市役所の西の農地約1町5反歩を買い、埋め立てて木材置き場として利用していました。その一部を全国教職員協同組合と、社会保険事務所に売却し、残りの場所に「開成幻想迷路」という若い人たちのための施設を作りました。当時としては珍しかったのか、入場者が列を成す有様でした。

#### brisbane hamilton rcにメーキアップ 1998.6



ある日、私に会いたいと言う方が東京に来ているというので六本木に行ってみましたら、なんとオーストラリア・クイーンズランド州政府観光局のチャーマン、ジョン・ブラウン氏でした。用件は現地に新しく鉄道を引くための資金のお話でした。内容は詳しくお話しできませんが、この話は今から25年も前のことです。これをきっかけにずいぶんオーストラリアには通いました。1998年6月にはブリスベン市のハミルトンRCにメーキアップしました。このクラブに当時のRI会長がおられましたのでお伺

いしたのですが、お時間をいただいて郡山をPRすると共に、バナーの交換をしてまいりました。

私の人生で忘れることのできないことのひとつに、郡山駅前再開発のことがあります。昭和55(1980)年、秀瀬市長の時から、平成13(2001)年まで、なんと21年もの長い苦しみの中から生まれた事業であります。ある時「駅前再開発の七つの謎」というテーマで、私が4時間レクチャーをしたことがあります。役所、金融機関、報道、関係先多数の参会で、一部の休憩を除いては居眠りする人はありませんでした。この生きの苦しみについては、改めてお話しする機会もあるかと思います。

最後に、お世話をになりました社会へのご恩返しの一端をご紹介させていただきたいと思います。昭和49年に県内の高校生を対象とする公益財団法人岩山育英会を設立し、それから40余年、数々の奨学生に僅かながらも育英資金を提供してまいりました。それともうひとつ、平成21年に私の母校である福島大学内に「しのぶ育英基金」を約2億円で創設し、毎年7~8名に一人約60万円の奨学金を交付しております。どちらの基金も、元金は海外の高利率・安全な運用につとめ、それから得た利息が学生さんたちにお届けできる体制となっています。どちらも皆様の篤志のご寄附をお待ちしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

#### ◎ロータリー財団寄付者

采女真弓／滝田幸子／高橋功  
武藤起代子／大山三起雄

#### ◎米山記念奨学会寄付者

藤田弘美／鈴木かおり／高橋功  
白岩邦俊／武藤起代子／蔭山寿一  
采女真弓／滝田幸子

#### ◎ポリオ寄付者

采女真弓／蔭山寿一／武藤起代子



閉会点鐘